

## 春の七草観察と寄せ植えづくり

野川・里山探検隊

12月23日、第6回野川・里山探検隊の「春の七草観察と寄せ植えづくり」が行われました。

むかしから、1月の7日を「七日正月」と呼び各地に七草に関わる行事が広く行われています。古くは「若菜つみの風習」として万葉集の時代にもその歌が残されています。「七草粥」という形で今も親しまれ、邪気を払い万病をまぬがれると、氏神様に供えたり、正月のおせち料理やおもちの食べ過ぎ・飲み過ぎなどで疲れた体に効果があると七草を粥にして食べています。人間と野草は深い関係にあることを、こういうことから再確認できます。「セリ」・「ナズナ」・「オギョウ」・「ハコベラ」・「ホトケノザ」・「スズナ」・「スズシロ」、春の七草全部言うことができますか？

講師の小池さんの指導により、七草の採取、鉢植えにせいを出しました。中にはリピータの隊員もいて、思い出しながら上手に作っていましたが、初めての子も含めて最終的には全員が完成させることができました。

隊員14名が保護者やサポーター21名が見守る中、小さな草を寄せ植えしている光景に穏やかで、やさしい気持ちに包まれた野川・里山探検隊でした。



## ●染地小学校4年生 五十嵐涉くん 環境大臣賞受賞！

読売新聞社主催「第12回地球にやさしい作文・活動報告コンテスト」のポスター部門で五十嵐くんが、環境大臣賞を受賞しました。おめでとうございます！なおご本人は普段から道路のゴミ拾いを実践しており、自分自身がゴミ拾いをしているポスターを描き受賞されました。

ご本人とお話ししましたのでお聞きください。

Q1.普段どういうゴミを拾いますか？

A1.タバコの吸殻、ペットボトル、缶など

Q2.いつからゴミを拾うようになったのですか？

A2.染地小学校では全員毎週水曜日にはゴミを拾って学校に来ることになっているので、小学校に入学してからずっと行っている。

Q3.このコンテストの応募のきっかけを教えてください。

A3.毎年夏休みに、必ず何か応募をしようという約束を親子でしている。

Q4.ゴミを拾うときに思うことは？

A4.ゴミは家に持ち帰って欲しいと思う

### 今月の活動報告

- ・野川・里山探検隊
- ・こどもエコクラブ
- ・入間・樹林の会
- ・雑木林塾（3回目）
- ・総合学習プログラム作成事業
- ・田んぼの学校

## こどもエコクラブ そばうち体験報告(1月18日)

今日は待ちに待った“そばうち体験”の日です。先ず石臼でソバの実を挽きました。ゴロゴロ、ゴーゴー、黒い殻がはじけて白い粉が出て来ます。自分でやってみたらとても重いんだ。

今回の講師は市職員で作る「深大寺そば打ち倶楽部」で、そば打ちの実演をしながらやさしくお話してくれました。はじめにそば粉と小麦粉をよくかき混ぜて、水を入れてまたかき混ぜて。次にそばをこねたりのばしたり。家族で替わりばんこに作業しました。慣れない手つきで作業していると、見かねた講師の指導が入ります。

わあー、もうおなかがすいちゃったア。早く食べたいよお。重たい包丁でのばした生地をこわごわ切るとようやくソバらしい形になりました。早速茹でててもらって食べると…。あれ！ソバってこんな味？ 楽しい一日でした。



## こどもエコクラブ「葉っぱ調べ隊」壁新聞「日本環境協会理事長賞」受賞



12月25日、環境省合同庁舎にて授賞式がありました。調布エコクラブでは樹木と二酸化炭素の関係を調査して、その結果を壁新聞にまとめ応募したもので、全国の応募総数小学生部門85団体の中から選ばれた3団体に入り、表彰されたものです。受賞者は、朝日小春さん(小3)・湯田こいしさん(小2)・比良田祐都さん(小3)・黒瀬悦孝さん(小3)の4人です。またサポーターの前田さんも活躍しました。

(記：サポーター佐久間)

## 人間・樹林の会 方形枠調査

新年おめでとうございます。本年も人間・樹林の会をよろしく願いいたします。

さて、1月19日日曜日に、植物専門家の根本さんにサポートしていただきながら、当日の参加者9名で、方形枠調査をしました。

アオキ、シロダモ、アズマネザサ等寒さに負けずに元気に少しずつ大きくなっていました。南側にあるNO.8枠の中には口ゼット状のハルジオン数株が春になるのを待っていました。

今回初めて根本さんのご指導で土壌硬度計を使って方形枠の四隅と真中の5箇所土の硬さを調べました。踏み固められたところには植物が育ちにくいこともわかり、これからの人間町の雑木林管理には貴重な体験となりました。(記：丸山)



## 雑木林塾講座第3回 活動報告

12月21日土曜日に、布田6丁目郷土博物館分館東側にあるヘビ山で、第3回目の雑木林塾講座を行いました。当日は前回集めたゴミの分別と笹刈り、落ち葉だめ作りを行う予定でしたが、雨が激しく降ってきたため、1時間だけゴミの分別を行いました。ゴミは2トントラック2台分にもなりました。その後市役所にて今後の活動についての話し合いを参加者18名(市職員含む)で行い、13時頃に解散しました。いつもは夜に行う運営会議に出席する少人数の参加者で、次回の講座について話し合いをしてきましたが、今回は多くの参加者で話し合いをすることができ、活発な意見の交換ができました。



## 総合的な学習の時間」に対応する地域プログラム等作成事業

### 市民ワーキンググループ活動報告

ニュースレターNO24号で事業の目的や活動内容についてお伝えいたしました。プログラムを仕上げていくに当たり、認識に差異がないように、グループ内の考えの共通化を図ろうと、スキルアップを兼ねて自主講座を7回行いましたので報告します。

#### 第1回「総合学習での環境教育のあり方」

講師；三島次郎氏（桜美林大学名誉教授、NPO 法人多摩川センター代表理事）

#### 第2回「教室・フィールドでのサポーターの心得と実践」

講師；倉持武彦氏（NPO 法人多摩川センター理事）

#### 第3回「総合学習での環境教育の実態～現場教師より～」

講師；千葉晋一氏（府中市立南白糸台小学校 教員）

「総合学習での環境教育の実態～NPO・ボランティアの話～」

講師；内田哲夫氏（NPO 法人多摩川センター事務局長）

#### 第4回「総合学習におけるコーディネーターの役割」

講師；森 良氏（エコ・コミュニケーションセンター代表）

#### 第5回「フィールド学習の手法について」

講師；岡田 淳氏（アースマンシップ自然環境教育センター）

#### 第6回「学習のまとめ・発表」

講師；山道省三氏（多摩川センター副代表理事）

#### 第7回「教材作成の手法」

講師；品田 穰氏（「都市の自然史」他著者）

講座の内容も素晴らしかったですが、講師の方々のお話も分かりやすく大変に参考になりました。

（記：岡本）



## ちょうふ DE 田んぼ日記その2 1 「田んぼの学校の修了式！そして堆肥作り」

12月1日佐須児童館で田んぼの学校の修了式を行いました。一人の落第生もなく、まずは校長からの修了証の授与式。ちょっと照れくさそう。田んぼの学校を一年体験しての感想では、修了生の皆さんの心温まる米作りの体験談の発表がぞくぞく。学校の主催者にひろがる安堵感は、数々の苦労も今では思い出からか。持ち寄った惣菜をおかずに食べる収穫したお米の味は、おもわず笑みがこぼれるほどの美味しさ。



実は事前に予定していた堆肥作りは、週末のぐずつく天候のため2週間後の12月14日にまで延期。当日は快晴のもと、深閑としたカニ山の広場で落ち葉拾いです。掻いても掻いても減らない落ち葉に、子どもたちはお仕事そっちのけ。

田んぼの学校では今まで熟成してない堆肥を田んぼにすき込んでましたが、今年は竹内さんちの堆肥置き場を使わせてもらって完熟堆肥に挑戦です。持ち帰った大量の落ち葉に、水分を補給しながら



鶏糞と米ぬかの混ぜ合わせ作業。長靴を用意してない受講生の足元は見るも無惨にグッチョグチョ。通信員はこっそり正月に向けて稲藁で注連縄を作りました。（受講生兼通信員 中原）

## 野川・里山探検隊サポーター募集

日時：2月9日(日)9時～15時(雨天中止)

集合場所：かに山キャンプ場

持ち物：軍手、昼食、飲み物

野川・里山探検隊(小・中学生対象)で炭焼きを行います。子どもたちの活動のサポートをしてくれる高校生以上の方を募集しています。

その他：要申込み

## 人間・樹林の会活動日

日時：2月16日(日)9:30～15時

集合場所：入町地域福祉センター

持ち物：軍手、昼食、飲み物、筆記用具、

その他：動きやすい格好で

現地の落ち葉掃きと来年度の管理計画作りをします。

## ちょうふ環境市民懇談会 全体会

～調布の自然にふれてみませんか～

日時：2月8日(土)13:30～16:30

場所：市民センター 4階 第2・第3集会室

内容：今年度の活動報告

基調講演 横山譲二氏

パネルディスカッション など

## 環境モニターガイドウォーク下見会

日時：2月24日(月)14:00～17時

集合場所：国領駅南口広場

持ち物：飲み物、筆記用具、

その他：歩きやすい格好で 要申込み

3月9日(日)に環境モニターで行う、ガイドウォークの下見会をします。

## グループ紹介 その7

### 水辺の生き物調査実行委員会

#### 目的

都市河川、主に調布市を横断して流れる野川の水生生物を採取・観察することにより都市河川の現状(水質・水量・水辺環境)を知り、縁遠くなってきた身近な川での魚獲りなどの遊びをとおして、河川保全の在り方を考えるきっかけをつくる

#### 設立の経緯

環境省および東京都環境局の水生生物調査の呼びかけに応える形で、ちょうふ環境市民懇談会を中心に身近な川を見守る会と野川で遊ぶまちづくりの会の協力を得ながら、賛同して下さった有志の皆さんで設立

#### これまでの主な活動

昨年9月29日(日)に佐須用水が流れ込む野川の細田橋周辺にて、参加者26名、スタッフ10余名で実施。(ニュースレターNo.24にて報告)

#### これからの活動予定

来年度は、ちょうふ環境市民懇談会のプロジェクトのひとつとして調整していきたい意向。(年2回程程度の活動を予定)

#### 一言アピール

今ではカワセミが姿を見せるまで澄んだ流れを取り戻しつつある野川。実際に川に入っている水生生物の観察は無条件に楽しいばかりでなく、モツゴやメダカなどの魚はもとより、カメやスッポンの珍客や、ときにはアオダイショウの乱入と野川の自然満喫のひとときを提供してくれること受けあい。

#### 問合せ先

ちょうふ環境市民懇談会または環境保全課

## 会議のスケジュール

日時	場所	活動名/内容
2月3日(月) 18:30~20:30	市役所4階 第4会議室	環境モニター 作業日
2月5日(水) 18:30~20:30	市役所3階 消費者コーナー	環境市民懇談会 全体会打合せ
2月13日(木) 18:30~20:30	市役所4階 第4会議室	人間・樹林の会 世話人会
2月17日(月) 13:30~16:30	市役所3階 消費者コーナー	ニュースレター 編集作業
2月20日(木) 18:30~20:30	市役所6階 図書教養室	環境市民懇談会 連絡会議
2月24日(月) 13:30~15:30	市役所3階 消費者コーナー	ニュースレター 発送作業
2月24日(月) 17:00 頃から	場所未定 要問合せ	環境モニター 連絡会議

紙面の都合上詳しい情報を掲載することができません。イベント等の詳細についてはお気軽に下記へお問い合わせください。また、お便りなども受け付けています。

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先：調布市環境部環境保全課

TEL：0424-81-7086

E-mail：kanky@w2.city.chofu.tokyo.jp

発行：ちょうふ環境市民懇談会